

AMAKASHI 甘櫻

103 | 2023

一般社団法人
権原青年会議所

4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう

僕らがいま、できる一ことって何やろう。



JCI
Junior Chamber International Japan
KASHIHARA

6 安全
を

10

CONTENTS

第51代理事長 泉岡健人 × 権原観光大使 ロッヂ中岡創一氏 スペシャル対談

「地元・権原のために、僕らができること。」

第51代理事長 泉岡健人 ご挨拶

JCI 権原 2023年度 事業紹介・事業計画

6 Local First - エリア内6市町村特集ページ

JCI 権原と地域とのつながり

Local
First

6 Local First



2023年度 第51代理事長 泉岡健人

基本方針

- 全体で取り組む未来へ繋げる会員拡大
- 影響力を与えるリーダーの育成
- まちのニーズを捉えた未来に繋がる広報、まちづくり
- まちやひとのために行動する JAYCEE
- 未来を担う青少年の育成
- 50周年運動指針の実施
- 出向者への積極的な支援

JCI KASHIHARA CONTENTS

Official HP Instagram Twitter
Facebook Official LINE BLOG



Lit
Link

アンケートにご協力ください！

Please answer the questionnaire!!



アンケートの回答
(Google フォーム)

(一社) 檜原青年会議所は、事業を行うことにより、我々の活動地域である6市町村（明日香村、高取町、田原本町、檜原市、川西町、三宅町）のまちを明るく豊かにすることを目的として活動する団体です。

今後も継続して事業や運動発信を展開していきたいと思いますが、その前提としてアンケートにご協力いただけますと幸いです。

2023
JCI KASHIHARA
事業紹介 & 事業計画

檜原青年会議所の1年間



新年例会 ~6 Local First~
@THE KASHIHARA

厳謹な空気の中、第51代理事長の泉岡健人君の所信演説に始まり、卒業された先輩方と盛大に新年会を楽しみました。



2月例会
~本音で語り合おう JCIの魅力について~
@かにの家

普段懇親会や例会以外の場に参加出来ないメンバーを含め、全会員が改めて会員一人ひとりがJCIの魅力を認識し、組織の帰属意識と拡大意識を高める例会となりました。



2月事業 ~修養団~
@公益社団法人 伊勢青少年研修センター

人が本来持っている明るく素直な心を磨きだし、人間力を高めることに主眼をおいた講習会に参加してまいりました。



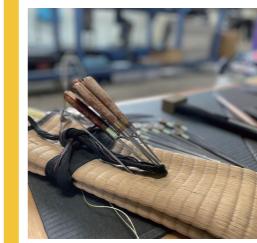
3月例会
~意識を変えろ！未来を見据えた広報戦略~
@大和信用金庫 八木支店 会議室

「今日は何の日かな~？」でお馴染みの、「魚屋の森さん」を講師としてお招きし、経験から学ぶ広報戦略についての講演をしていただきました。



4月例会
~What's JC! 成長の機会にしよう~
@ミグラント檜原4階 コンベンションルーム

アカデミーメンバーや歴を浅くして卒業するメンバーも多い中、少しでも多くの学びを得るために、JCの知識や価値観について学びました。



4月事業
~NEXT1 6Local MAP 探訪せよ 新たな出会い~
@奈良県社会福祉センター

姉妹JCの宮崎青年会議所と檜原青年会議所のデリトリー内の6市町村をまわり、地元の歴史や名産物を知り、まちの魅力を再発見いたしました。



会員旅行
~アスレチックパークと 有馬温泉へ行くのであります~
@六甲山アスレチックパーク・有馬温泉

会員内の交流を深めるためにアスレチックパークと有馬温泉を楽しみました。



5月事業
~あたたかみシンポジウム~
@奈良県社会福祉総合センター

自分たちが住み暮らすまちをもっと知り、より良いまちづくり、魅力を発信できるきっかけを得る機会として、企業や地域の皆様とシンポジウムが行われました。



5月例会
~わんぱく相撲 檜原場所~
@ 檜原公苑 相撲場

輝く未来にさらなる前進!! 「勇気・礼節・感謝」をテーマに小学生の頑張りを皆で支えました。



6月例会 ~甘櫻会合同例会~
@ 檜原神宮養成殿

檜原青年会議所の現役会員と卒業された先輩方(甘櫻会)と共に学び、話し合い、世代を超えて交流を深めました。



10月例会
~第22回 檜原夢の森フェスティバル~
@ 檜原神宮周辺

地域から「夢フェス」と親しまれ、今年で22回を迎える檜原夢の森フェスティバル。中南和最大級の市民参加型のおまつりを皆で作り上げます。



11月例会 ~反省例会~
@未定

一年間の活動の振り返りを行い、次年度への課題や意気込みなどを発表する機会をつくります。



12月例会 ~年末例会~
@未定

歴代理事長、卒業された先輩方、さらには、メンバーのご家族様にも参加いただきまして、盛大に忘年会を行います。

檜原青年会議所では、
その他にも多くの
例会や事業を行ってあります！

※社会情勢等により変更にある場合があります
※一部画像はイメージです

第51代理事長 泉岡健人 × 檜原観光大使 ロッヂ 中岡創一氏 スペシャル対談



地元・檜原は住みやすい！

泉岡 檜原青年会議所（以下、檜原JJC）の理事長を務めさせていただいている。泉岡と申します。よろしくお願い致します。

中岡 よろしくお願い致します。

泉岡 本日はお時間いただきましてありがとうございます。まず我々青年会議所というのは、20歳～40歳のメンバーが、地域の方々とのまちづくり活動やリーダー育成をしている団体です。

中岡 あ、40歳までなんですか？

泉岡 はい。「明るい豊かな未来を作りましょう」というスローガンで活動をしているのですが、行政と連携して色々なイベントを開催させていただきました。直近では5月にわんぱく相撲を檜原公苑にて開催させていただきました。

中岡 そうなんですね！いいですね！

泉岡 他には、檜原JJCの主なイベントの一つに、毎年10月に「檜原夢の森フェスティバル」という市民参加型の中南和では最大級のお祭りがあります。

中岡 「檜原夢の森フェスティバル」ですか？どこでやっているんですか？

泉岡 毎年、檜原神宮周辺にて開催させていただいておりまして、去年は5万人くらいお客様に来ていただきまして、大変盛況なお祭りになりました。

中岡 うわ凄いっ！なんか以前にコメント出したような気がするなあ？

泉岡 何年か前にコメントをいただいたいると思います。また今年もあ

りますのでまたコメントいただければと思います。

中岡 是非是非！ご協力させていただきます。

泉岡 ちなみに観光大使される前とされてからの違いとかありますか？

中岡 あんまり意識したことなかったんですけど、地元の友達がほとんど県外に出ていないな、結構残ってるなと思いますね。理由を聞いたら大体『便利やから、とか『住みやすいから、って聞いて確かになと思いましたね。地元に帰って友達にご飯のお誘いすると結構な人数がパパっと集まるんで、他の県の方に聞いたら皆地元出ちゃったっていう人も結構多いっていうからすごいなと思います。

泉岡 結構残ってるんですね。

中岡 残ってます残ってます、僕の周りは。

泉岡 檜原JJCの活動地域が、明日香村、高取町、田原本町、檜原市、川西町、三宅町なのですが、地元に戻られた際に行かれる場所などはありますか？

中岡 檜原神宮へは実家に帰ってきたら行きますね。次の日の朝一とかに。

泉岡 お参りでご挨拶に行く感じですね。

中岡 はい。お参り帰りに自転車で今井町をぶらぶら帰ってって感じですかね。夜に帰ってきた場合は同級生の辻さんが営んでいる小料理屋に寄りますね。

魅力を発信するには…

泉岡 地元の魅力をPRするためには何か必要だと思いますか？？

中岡 とにかく檜原神宮の良さを見せた方が良いかなと。あんなに運気が上がりそうでマイナスイオン溢れる感じの場所はなかなか無いでしょ？色々行っていますけど。でも地元の方はあんまわかんないですよね？

泉岡 当たり前にいつも行ってしまっているところがありますもんね。

中岡 そうなんですよ。僕も地元に住んでいる時は「檜原神宮ってすごいんや～」くらいでしたけど、県外に出るとあんな魅力のある場所は他にないですからね。

泉岡 もっと地域が一体となってうまくPRすることが出来れば良いのですけれども。

中岡 なかなか難しいですよね。行くのが大変ですからね。新幹線がないから。リニアが奈良に止まってくれたらな、って思いますよ。

泉岡 中岡さんの地元の今井町も今はお店がどんどん出来ていますよ。

中岡 そうですよね。今井町も僕が住んでいた時はただの古い家がいっぱい集まっているとこくらいの感じで自転車に乗ってましたけど、よくよく考えたらあそこすごいですよね（笑）

一同 （笑）

中岡 たまにロケで色々な古い街並みを見せてもらうのですが、改めて今井町ってすごい場所なんだな、って思いますね。

泉岡 確かに。今井町を知らない人は奈良県の人でも結構いるんですよ。

中岡 今井町にもっと人が集まるようになら良いんですけどね。そしたら檜原神宮も行けるし。レンタル自転車なんかでも檜原神宮ならすぐ行けそうやしね。

泉岡 明日香村やつたらレンタル自転車がありますけど今井町ってそう言われたら無いですね。私もこの前、檜原神宮の隣の神武天皇陵に初めて行ってきたんですけど。

中岡 あそこで本当に行かなあかんのでしょうか？この前大木さんに聞いて。

泉岡 大木さん？

中岡 ビビる大木さんが好きなんですよ（笑）めちゃくちゃ好きで檜原神宮に行ったら、神武天皇陵もあわせて絶対行つた方が良いよ！って。

泉岡 じゃあ中岡さんは行つたことはなかったんですか？

中岡 行つたことはあったんですけど、あまり意識というか区別はしていなかつたですね。

泉岡 そうですね。檜原神宮といつたら檜原神宮だけって感じですもんね。以前、檜原JJCと奈良芸術短期大学の学生などで、檜原神宮前の駅から檜原神宮に向けて行く参道にある商店街にシャッターアートをさせていただいたこともありますね。

中岡 あ、そうなんですか！それは知らなかったです。檜原神宮へ行くのに（参道の商店街が）盛り上がっていた方が楽しいかもしれないですね。何が当たるかわからないですからね！色々やってみて欲しいなと思いますよ！



檜原市 × CAPCOMについて

泉岡 PRするのが大変というか、檜原市のPRや我々のPRもそうでした。檜原市はカブコンと包括連携協定されたんですよ。

中岡 すごいですね！どういった協定なんですか？

泉岡 カブコンの創設者さんが檜原市出身みたいで、市役所の新しい方の前にもカブコンのストリートファイターのキャラクターの旗がいっぱい立てたり、駅にも芸大生が書いたストリートファイターの絵があつたりして今どんどんそういう場所が増えてます。

中岡 えー！すご！そうなんですね！知らなかつたです。じゃあ海外の人も来てくれそうですね、そういうので盛り上げたら。

泉岡 そうなんですよ。そういうコラボも始まつたんでもっともっとPRできるのかなと。

中岡 東京はめちゃくちゃ外国人いますよ。もうそろそろ来てくれるんじゃないですかこっちにも。

泉岡 観光客の外国人って僕あんまり見たことなくて、京都とかはやっぱり多いですか？

中岡 多いですね～。京都、大阪に取られますね～。（笑）

一同 （笑）

泉岡 でもストリートファイターだったら好きな人が結構いると思うのでそういうPRになりますね。そういう広報も中岡さんに色々手伝つていただけたらなと思います。

中岡 はい。良いですね！これだけアピールするものがあるっていうのは。

中岡氏から JCI 檜原へエール

中岡 青年会議所は40歳までなんですね。

泉岡 そうです。40歳までなんです。もしかして、入会してくれようとしてましたか？（笑）

中岡 いやいや、しません！（笑）でもこうやって、活動してくれる人も少なくなってくるでしょ？

泉岡 そうなんですよ。拡大活動にも苦労しています。小さなことでもコツコツとやっていけば、まちはもっと良くなると思って頑張っています。

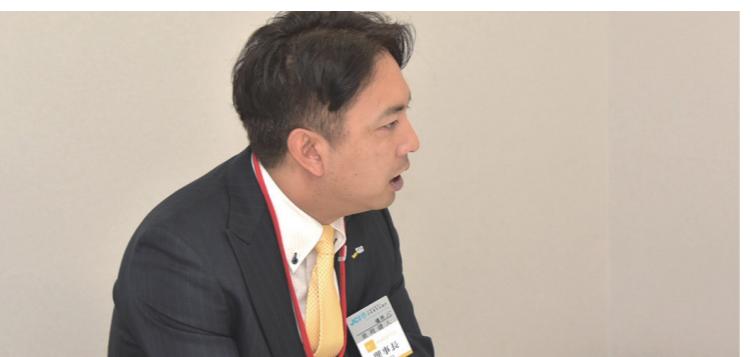
中岡 でもこうやって地元のために頑張って下さってるのは嬉しいです。有難いです。

泉岡 ありがとうございます。また一緒に何か出来れば嬉しいです。

中岡 はい！是非！よろしくお願いします。

泉岡 長時間すみませんでした。本日はありがとうございました。

中岡 ありがとうございました。



人手不足の企業と個人を
つなぐ仕組み
「高取町しごとコンビニ」を
利用してみませんか？



村内で開業を目指す チャレンジャーを支援する 明日香村チャレンジショップ 「ASUCOME（あすかむ）」

村内の観光・商工の活性化と、村内で独立・創業を目指す事業者支援のためにオープンしたチャレンジショップ「ASUCOME（あすかむ）」は、2023年で10年目を迎えます。すでに複数の事業者がチャレンジ期間を終え、村内で活躍しています。



村の雰囲気に調和した和モダンな ヘッドスパのお店「cocoro」

美容師の免許を持つオーナーが、頭のマッサージを通して「美」のお手伝いと「癒やし」をお届けします。気軽にできるドライスパから本格的なマッサージを体験できるヘッドスパまで、お客様の要望に幅広く応えるお店です。



地産地消の食材で心と体の健康を 目指す軽食店「虹畠」

お店の目標は、食を通じて様々な方と繋がり、食の大切さを伝えていくこと。村の旬の野菜や果物を使った安心安全のオリジナルメニューが味わえます。観光客はもちろん、地域の方にも愛されるような、「繋がり」を大切なお店です。



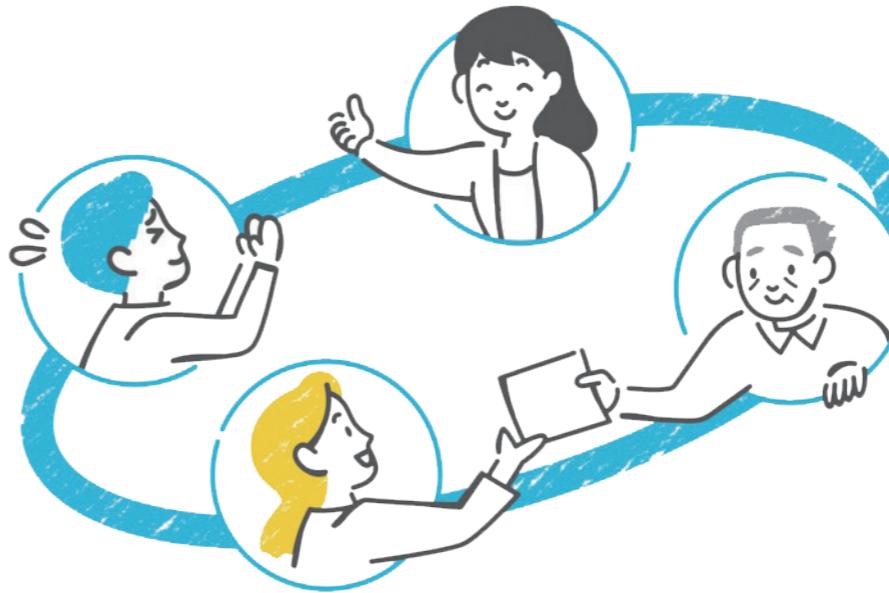
素材を生かしたパスタと地元の野菜を 使ったイタリアンが味わえるお店 「Piccolo Ristoro」

店名（ピッコロ リストーロ）は、イタリア語で「少しの安らぎ」という意味。イタリアで各地方の郷土料理を学んだ経験を生かし、食べやすくアレンジしたイタリアンのお店です。



マクロビオティックの考え方を 基にしたオーガニックなごはん料理 「cafe めぐる」

マクロビオティックは、その土地の気候風土に適した食材が体となり、健康を保つという考え方。その考え方を基に、村食材や自家栽培の野菜を使った、おいしく健康的な手料理を提供するお店です。



高取町しごとコンビニは、「ちょっとだけ手伝って欲しい」と「ちょっとだけ働きたい」をつなぐワークシェアリング事業として令和4年4月から高取町でスタートしました。

登録メンバーは103人（令和5年5月現在）、16歳～84歳の幅広い年代が登録し、フルタイムでは働くことが難しい子育て中の人が介護をしている人、学生や高齢者などさまざまな人と仕事をつなぎ、生きがいづくりや居場所づくり、地域のコミュニケーションの場を提供しています。

しごとコンビニの魅力

必要なときだけ

「募集の手間をかけずに、忙しい時だけちょっと手伝って欲しい」ニーズにお応えします。

少ない手間と経費で

雇用に必要な福利費等のコスト、給与計算やシフト調整の手間がかかりません。

生産性アップ

社員にしかできない業務以外を依頼することで、生産性アップにつながります。

SDGsへの取り組みに

しごとコンビニを利用することで、いくつかのSDGs目標達成に向けての取り組みになります。



しごとコンビニ PR MOVIE



LINEのビジネス版とし400万人が利用する「LINEWORKS」。「働く」にまつわる課題の改善に取り組む企業や団体を表彰する「LINEWORKS 新しいワークスタイル大賞」にて、栄えある第1回大賞を受賞し、大賞の副賞として高取町しごとコンビニを舞台にした動画が制作されました。

登録メンバーのお仕事風景や実際にお仕事を実施する人やご依頼主に生の声が、まるでCMのような素敵な映像で紹介されています。

ぜひ一度ご覧ください。

JCI 横原と地域のつながり

2018年に明日香村は石舞台古墳 芝生広場にて、地域のお子様と一緒にオリジナルLEDスカイランタンを作り、夜空に向けて飛ばしました。
お子様の笑顔が忘れられません♪
ありがとうございました♪



ASUCOME（あすかむ）について

住所：〒634-0111 奈良県高市郡明日香村岡410
★奈良県立万葉文化館の駐車場（無料）が利用可能
TEL：0744-54-9020（明日香村 観光農林推進課）

<http://asucome.asukamura.jp>

お問い合わせ

一般社団法人 高取町しごとコンビニ（担当：鍵本）
奈良県高市郡高取町兵庫202番地
TEL/FAX 0744-52-2233

オンラインのお打ち合わせ大歓迎 !! ※無料
少し興味がある。一度話を聞いてみたい。今すぐ依頼する内容がなくても、ぜひお気軽にご連絡ください。



JCI 横原と地域のつながり



2019年11月にたかとり城まつりに参加させていただきました。
はっぴを着用し土佐街道を地域の方々と一緒にウォーキングさせていただきました♪
ありがとうございました♪



子どもから高齢者まで 誰もがいきいきとした暮らしを 楽しむまち たわらもと

田原本町は、のどかな田園風景と歴史ある文化遺産が調和した町です。弥生時代を代表する近畿地方最大の環濠集落遺跡である唐古・鍵遺跡(国史跡)や、能楽の礎を築いた世阿弥が禅の極意を学んだとされる補嚴寺(ふがんじ)など、2500年間の絶え間ない人の営みの記録は、私たちが未来に受け継いでいかなくてはならない、かけがえのない財産です。

そうした本町では、まちの将来像「子どもから高齢者まで誰もがいきいきとした暮らしを楽しむまち たわらもと」を実現するため、子育て支援のほか、様々な事業を実施しており、その一部に、ふるさと納税によって皆様からいただいたご寄附を活用させていただいている。その成果として、近年転入増に繋げることができており、今後も引き続き様々な事業を力強く推進するため、ふるさと納税制度を通じた寄附によりご支援いただける方を募集しています。町の取り組みに共感いただけましたら、ぜひご寄附・ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

なお、本町へのご寄附に対するお礼の品としては、創業56年の町工場で最先端技術と職人の知識を活かして作り上げられる「松井ニット株式会社」様のカシミア100%のニットや、老舗料亭とホテルで修業した包丁人が四季の風趣を凝らした日本料理を提供する「美食遊彩田なか」様のお食事チケット、創業51年の建築会社で蓄積した技術を用いて高精度・良品質な鉄骨を提供する「上柿鉄工建設株式会社」様の極厚バーベキュー鉄板などがあります。こうしたお礼品は、町内事業者様のご協力によりご提供いただいている。ふるさと納税は町内事業者様の支援にもつながっています。ぜひ本町のお礼品を手に取っていただき、町の魅力的な要素に触れていただけたらと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

JCI 榎原と地域のつながり

2022年に田原本青垣生涯学習センターにて農業に焦点を当て、地域の課題解決策を考え、田原本町に提言するシンポジウムを開催。ご参加くださった地域の皆様、ありがとうございました♪



STREET FIGHTER X 榎原市 KASHIHARA CITY

包括連携協定までの経緯

株式会社カブコンの創業者であり、現在は代表取締役会長CEOの辻本憲三氏が、本市のご出身であることから1995年に開催された藤原京創都1300年記念祭『ロマントビア藤原京'95』でカブコンのパビリオンを出展いただき、描きおろしアニメーション【よみがえる藤原京「時を駆けたファイターたち」】をご提供いただきました。

当時から27年が経過した2022年4月に会長と対談する機会があり、市に協力できることがあればとおっしゃっていましたことが包括連携協定への契機となりました。



包括連携協定の目的

それぞれ有する資源や魅力を活かし、多様な連携
(1)歴史・文化資源の有効活用 (2)観光振興 (3)地域広報
(4)デジタルの推進 (5)未来を担う子どもの育成
(6)その他市政の推進及び地域活性化に関すること

このようなことを通じて相互に協働して事業に取り組むことにより、地域活性化を図るものとしています。



亀田市長よりご挨拶

私が令和元年11月に市長に就任して間もない令和2年1月に国内での新型コロナウィルス感染が確認され、感染者数が加速的に増加していく中で、市民の皆様の命と暮らしを守るための施策を最優先に進めてきました。

今後は、Withコロナやアフターコロナを見据え、社会活動・経済活動も推進されるよう一層努力していきます。私たちのまち橿原市をもっと住みやすく、もっと魅力あるまちとなるよう、特に子育て・教育の充実、デジタル化の推進を軸に、今年度の事業を組み立てました。

- 1 みんなが活躍し、個性輝くまち
 - 2 みんなが健やかに、支え合って暮らせるまち
 - 3 みんなが安全に、快適な環境で生活できるまち
 - 4 みんなが活力と魅力を生み、賑わいあふれるまち
 - 5 市民とともに「かしほら」をつくる信頼の行政運営
- のカタゴリーごとに施政方針でも説明しています。
- なかでも、奈良県、桜井市、明日香村と共に世界で唯一の資産である「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の令和7年の世界遺産登録を目指しており、その登録に向けて、構成資産の価値や魅力を伝えるためにも、人気ゲーム「ストリートファイター」シリーズを積極的に活用し、本市の魅力を内外に発信していきます。

JCI 榎原と地域のつながり



2021年に奈良芸術短期大学の学生と共に橿原市久米町内の商店街のシャッターにシャッターアートをさせていただきました♪商店街の皆様、学生の皆様、本当にありがとうございました♪

「日本国はじまりの地」に会いにきて！

かしほら



空と緑のはぐくみ TOWN 川西町

8
子育てしやすく
子ども達が安心して歩けるまち
つの理由

環境
environment

- 01 整備された駅近の住宅街
子どもやパパを毎日車で送り迎える時間を節約できる！
- 02 広々とした平坦な道
運転が苦手なママでも安心して運転できる！
- 03 のどかな風景
高い建物がなく、青空いっぱい広がる風景。
空気もきれい。



JCI 檜原と地域のつながり

2023年4月のNEXT5実行室の事業で姉妹JCIの宮崎青年会議所と一緒に地域の魅力再発掘ということで、川西町の株式会社トモイ様へ貝ボタンについてお話を聞いてまいりました。
ありがとうございました♪



施設
facility

- 04 保育・教育施設の充実
待機児なし！働くママも子どもも安心。
- 05 病院・公共施設が近い
小さな町だからどこに行くのも近くて便利！
- 06 体を存分に動かせる環境
健康的に習い事。家計の負担が少なく続けやすい！



行政
administration

- 07 物理的にも気持ち的にも役場と近い
他では半日がかりだった役所手続きも、川西町なら早い！
- 08 町のイベント多数開催
四季を通して楽しめるイベントが盛りだくさん！



日本で2番目に小さい町に
まちづくりのプロがやってきた

三宅町は奈良県で最も小さく、全国でも2番目に小さなまちです。町の中に古墳がボコボコあつたり、聖徳太子の通勤路だった太子道、環濠集落や迷路のような道がそのまま残るなど、歴史と文化が薫るまち。また生産100年の歴史と高い技術を持つ野球用グローブづくりが有名で、豊かな田園風景が広がるまちです。

三宅町が新たに迎えたのは、プロジェクトマネージャー・田中友悟さん。京都府亀岡市出身、龍谷大学で政策学を学び、京都、淡路島、山梨などで地域おこし、まちづくりにずっと関わってこられた方です。

小さなまちの持つ力、可能性について聴いてみました。



まちづくりのプロ・田中友悟さんのお話

tanaka's voice

僕は昔から自分の住んでいた地域に強い愛着を持っていました。住民間の強い絆や自然と近い暮らしがとても好きだったんです。ただ、思春期の頃には田舎であることへのコンプレックスも抱えていて。そのような理由から、大学では人生の過程で複雑な想いをもっていた「ふるさと」の魅力や可能性を改めて見つめ直し、愛する土地と生きていくために大切なことを学んでみたいと思うに至りました。

そこで、自らの暮らしや仕事を自分たちでつくりだしていく「まちづくり」や「市民活動」と呼ばれる取り組みと出会い、大学院まで研究を続けることになったんです。

その後は、各地の住民参加型のまちづくりや、文化を起点とした地域課題解決の事業づくりのお仕事に就き、まちの可能性を引き出す取り組みを探求してきました。現在は、地域の産業振興に取り組む地域商社とデザイン・企画の会社を経営しながら、大学でまちづくりの教育に関わっています。

三宅町の「2番目に小さいまち」という特徴は、ひとつの個性だと捉えています。小さいというと、一般的にはマイナスのイメージが先行すると思うのですが、小さいからこそスピード感や柔軟性もあるでしょうし、近い距離で顔が見えるコミュニケーションが可能とも言えます。中規模都市になると民意は見えづらくなりますが、小さいからこそ集中的な議論や合意形成の可能性もあるでしょう。また、三宅町のある一面でしかない小ささをより抽象的に捉えてみることで、場所を超えて「スマール」の価値と共に探求できる仲間もでてくるのではないかでしょうか。

公共を担う人は、役場関係者だけではなく多様な人がいていいわけです。農家の方も小学生も、自分の人生を送っているけれど、それぞれの振る舞いがまちの豊かさに繋がっている。そんなまちとの交わりの機会をこれから増やしていければと思っています。

また、町長や役場の皆さんが高いスピーディ感を持って地域の課題解決に挑戦している体制も魅力だなと思います。役場が編み出すメッセージの数々が、様々な人の思いや力と呼応し、三宅町の魅力を底上げする仲間が増えていくとよいですね。

そして、その根幹にあるべきものが地域住民との対話、土地や過去との対話です。三宅町が三宅町であり続けるために、変えないものと変えていくものを問いかねる機会が必要でしょうし、全てをそこから始めるのが三宅町が掲げる精神です。

何気ない景色の中に幾つもの古墳があるこの場所では、これまでの膨大な時間の厚みにも敬意をもった事業が必要ですよね。簡単ではないでしょうか、このまちの文化を耕し、その輪郭を地域と共に描いていきたいと思っています。

田中友悟



1992年生まれ。京都府亀岡市出身。Hasen inc 代表取締役（一社）山梨市ふるさと振興機構 代表理事、山梨県立大学特任助教。政策学修士。大学院にてまちづくりのデザインプロセスを研究する傍ら地域づくり系シンクタンクに所属し、地域のコミュニティデザインに従事。2017年からは、山梨県山梨市にて地域商社を設立し、一次産業を中心とした文化資源の販売や自治支援に取り組む。2022年より、事業開発とデザインリサーチを行うHasen incを設立し、まちづくりの実践・探究を行う。

tanaka yugo

JCI 檜原と地域のつながり



2022年に三宅町交流まちづくりセンターMiiMoにて子ども達のための事業【NICO SMILE】が開催されました。工作・美術・昔遊びと楽しい一日を過ごしました♪
ありがとうございました♪

新 入 会 員 募 集

私たちは【明るい豊かな社会の実現】を目指す熱意あふれる20~40歳までの青年で構成された団体です。

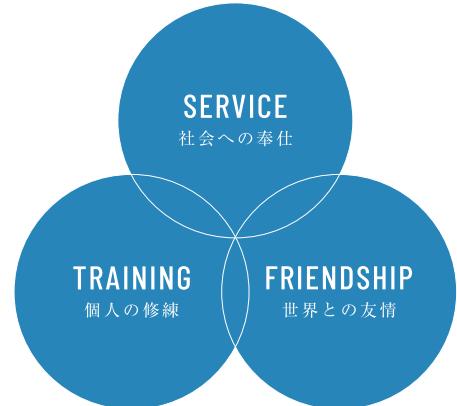
会員同士が同じ目的に向かい切磋琢磨することで絆が生まれ、生涯を通じて付き合えるかけがえのない仲間を得ることができます。JCでの経験がきっと皆様の人生の財産になることをお約束いたします。

J C 三信条

修練とは [Individual Training] つまり自己への啓発であり、

奉仕とは [Community Service] つまり地域社会への奉仕であり、

友情とは [International Friendship] つまり国際間の友情ということである。



ちょっとしんどいけど、
ちょっとええことしよう。

ほんまもんの
「異業種交流」を。

子どもたちの育成に関する事業

JCI橿原は、未来のまちの担い手である子どもたちの健全な成長のために、様々な青少年事業を展開しています。

地域特性を活かしたまちづくり事業

JCIは自分たちの住む「まち」の活性化に若いエネルギーを燃やしています。JCI橿原では地域の特性を活かした事業を展開し、「魅力あるまち」として発信することに努めています。

心強い仲間と絆

JCI橿原には、個性豊かなメンバーが多く在籍しており、年単位で行動を共にすることが多く、強い絆が生まれます。

自己研鑽・修練

様々な活動においてリーダーシップを発揮できるよう、JCI橿原では独自のプログラムによって実践的なトレーニングを行い、メンバーの能力向上に努めています。

JCI 橿原は、育LOM に積極的に取り組みます！

育LOM宣言6ヶ条

私たちはメンバーそれぞれの多様なライフステージを尊重し、育児や家庭を優先する事への理解を示します。

私たちは、メンバーが家族と過ごす時間を増やすために、効率の良い組織運営を心がけます。

私たちはIT等の先進的な技術を積極的に活用し、事業や会議等へのメンバーの多様な参画方法を模索します。

私たちは、出産や育児で休会等を行っていたメンバーが復会しやすい環境を作り、温かく迎えます。

私たちは、メンバーのご家族のJC運動に対する継続的な理解を心がけ、そのための取り組みや情報発信を推進します。

上記5ヶ条を理事長はじめ役員が率先して実践し、LOM全メンバーの共通の意志として育LOM宣言を行います。

